

事業・財務情報の活用法 / “お局”職員撃退法 / 診察室のイメージアップ

CLINIC BAMBOO 5

今日と明日の開業医をサポートする
——最新クリニック総合情報誌

ばんぼう

MAY 2009
VOL.337
定価 1,020 YEN

クリニック掲載誌

[特集] ライバルに差をつける!

「事業・財務情報」 の活用法

[第2特集]

職場を混乱させる

“お局”職員 撃退法

[第3特集]

受診しやすい環境をつくる

診察室 イメージアップ大作戦



今月のキーパーソン
大久保満男
社団法人日本歯科医師会会長



The Family Doctor
松本 玲
医療法人社団医新会
レイ眼科クリニック院長

平成21年5月1日発行 通巻337号 毎月1回1日発行
昭和59年2月14日第二種郵便物認可 ISSN 0912-8662

くどうちあき脳神経外科クリニック 看護師長
日本アロマセラピー認定看護師
英国IFA認定アロマセラピスト

安藤弥生さん

自立して生活するために「手に職をつけたい」と考えたこと、親戚に医療関係者が多かったことから看護師を目指したと話す安藤弥生さん。看護学校を卒業後、病院や診療所勤務を経て、2001年にオープンしたくどうちあき脳神経外科クリニックに看護師として入職。本来業務の傍ら、週に1日はアロマセラピストとしても働いている。

病院勤務時代の後輩がアロマセラピーの勉強をしていたことがきっかけで、興味をもつようになった。香りと脳の間を学んだり、香りによって自身も楽になることを体感していくなかで、アロマセラピーを活用したいと考え、4年前には国内と国際2つのアロマセラピストの資格を取得した。

同院では、安藤さんが入職してから院内にディヒューザーを置くなど、アロマを活かしたサービスを展開。現在は女性の患者とその家族に限り自費で、エッセンシャルオイルを使用したアロマセラピーを提供している。喜んでもらえることで、自分も幸せに感じると言う。看護師業務でも患者から感謝されることがやりがいにつながるので、患者とコミュニケーションを図ることを何よりも大切にしている。

「実は一時期、声優を目指して看護師業務の傍ら養成所に通っていたんです。途中で諦めましたけど、その頃に抱いた『人に感動してもらいたい』という気持ちを看護・アロマ両方の世界でも大切にしています」と、まっすぐな瞳で語る。



Profile

あんどう・やよい 1971年 大分県生まれ。国立中津病院附属看護学校(現在は閉校)を卒業し、看護師として都内の病院や診療所に勤務。2001年より現職

看護とアロマセラピーの両面で
患者の心と体を癒す



撮影=関口宏紀